

図書館通信 11-12

山形県立南陽高校図書館

令和3年12月8日発行

初参戦！ビブリオバトル2021



11月3日(木)山形市の遊学館ホールで開催された「ビブリオバトル2021 山形県大会」に南陽高校代表として、1年2組佐藤音々さんと2年2組高橋夢花さんが出場しました。本校からは初参戦です。二人とも練習の成果を発揮して堂々とプレゼンを行い、大接戦の末、佐藤音々さんが優秀賞に輝きました！各校のパトラーがプレゼンした本の中から南陽高校の図書館にもある本と今回新しく購入した本(新着図書)を紹介します。

県優秀賞

本校代表 佐藤音々さんがプレゼン
『ジャッジメント』小林由香著、双葉社

大切な人が殺された時 あなたは『復讐法』を選びますか？(双葉社 小林由香特設サイトより)

新着図書

本校代表 高橋夢花さんがプレゼン
『ジブリアニメで哲学する』
小川仁志著、PHP 研究所

ジブリアニメに出てくるモチーフを哲学して、作品に隠されたメッセージを読み解く。

県チャンプ本

『夏と花火と私の死体』
乙一著、集英社



殺された少女の“死体”
の一人称で語られる
兄妹の四日間の冒険。

県準チャンプ本 新着図書

『文豪たちが書いた「猫」の名作短編集』
彩図社文芸部編、彩図社

15人の文豪たちが書いた、猫にまつ
わる短編小説・エッセイを収録したア
ンソロジー

新着図書

『誰も死なないミステリーを
君に』

井上 悠宇著、早川書房



新着図書

『狐笛のかなた』

上橋 菜穂子著、新潮社



リクエスト図書からこんにちは



最近のリクエストから2冊を図書委員の2-4 岡崎心葉さんと2-2 佐藤理紗さんにご紹介いただきました！

「精神科ナースになったわけ」

みず くに せいり
水谷 緑

人はなぜ、心を病むんだろう。
普通のOLだった太田良枝は、肉親の死による悲しみで、心のコントロールが利かなくなってしまう。経馬会から、心の病に興味を持つようになり、精神科の看護師になることを決意。患者さんと向き合っ、少しずつ見えてくるそれぞれの理由、それぞれのルール。精神科のリアルな現場を描くコミックエッセイです。心理学や精神系のことについて興味がある人はぜひ、借りてみて下さい。

2年4組 岡崎心葉

「頑張らなくても意外と死なないからさっさと生きてこ」

この本は歌舞町一、癖かすこいゲイバー店員カマタくさんという方が書いた本です。
この本の魅力はタイトルからわかるようにとにかく糸田かいこさんは自分に合った生き方を見つけるのにもいいのではないかと、というカマタくさんの「生き方」についての考察がされており、日本必の他人の目を気にしすぎる部分がいかに人生を不幸にしているかが書かれています。
自分の価値感だけで相手を見るときどうしてもわかり合えない部分があるから、いろいろな考え方を相手に歩みよる、というのはいかにいい人が心得ていることかとも思います。しかしカマタくさんは、「相手に歩みよること自体つかれる。だから空気を言えず、自分の好きなように生きろ」と割り切って考えていると思います。

今はネット社会で相手のなにかにいい一瞬態度に傷ついてしまうことも多くあると思いますが、ぜひこの本を読んで新たな生き方を見つけてみて下さい！

2-2 佐藤理紗